キッズデザイン製品開発支援事業

子育て賃貸住宅評価基準の設定
（ミサワホーム株式会社）

プロジェクトの目的

・1つ1つの家庭内事故と生活スタイル・住空間を照らし合わせ、その因果関係をきちんと調査する 。

・安全・安心の視点と子どもの健全な発育の視点の両方を取り入れた住まいづくりを行う為に、家庭内事故が起こる背景の研究とデータ収集を行う。

・最終的には、子育て住宅評価基準により子育て住宅市場全体のレベルアップや子育てしやすい住まいの社会全体への普及を目指す。

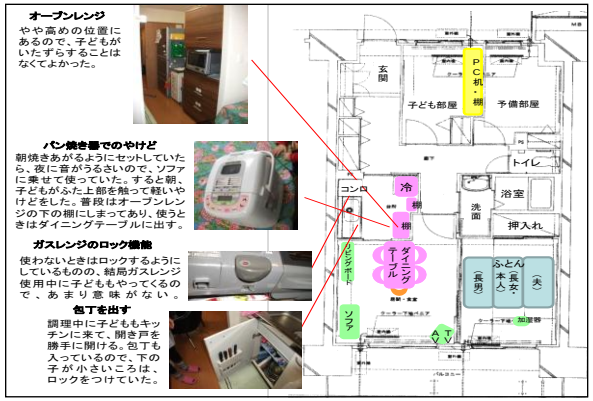
実施方法

・子育て住宅販売実績調査
ミサワホーム販売実績より、住宅市場、賃貸住宅、規格型子育て住宅の分析を実施。

・子どもを持つ家庭の生活調査
[1] 意識調査
Webを利用した定量調査を実施（全国主要都市　サンプル数：100名）。
[2] 生活不具合MAPの作成
住宅訪問・レポート調査を実施。

結果と考察

生活不具合MAPの例



考察例：　1）狭い場所に生活用品が集中することで、様々な家庭内事故を誘発。2）収納不足解消・家具家電の適切な配置（高さ）・適切な配線計画・空間の連続性確保等による「住まい全体の改善」によって、家庭内事故予防が期待。3）1つの家庭内事故を防止するには、家電、家具、住宅などの多数の業界が協力することが必要不可欠。業界の枠を超えた情報提供やものづくりの仕組みが必要。

今後の展望・展開

・生活背景、家族背景、社会背景も継続して調査を行い、様々な観点から家庭内事故の原因を究明する。又、その情報を公開する仕組みづくりも行う。

・家電、家具、住宅などの多数の業界が協力して家庭内事故防止に取り組むプロジェクトを立ち上げる。

・不動産流通やリフォームまで含めた住まい全体の子育てて評価基準を設定する。